

因島業界動向

2026年3月期

因島商工会議所

調査の概要

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和8年3月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和8年4月～6月の先行き見通し
3. 調査時期 3初旬～下旬
4. 調査対象 50社(製造業:16社 非製造業:34社)
5. 回収状況 32社(製造業:14社(+1) 非製造業:18社(▲2)) ※内オンライン回答 9社(▲5)
回答率 64.0% (前回比▲2.0% ※日商LOBO調査含む)
6. 回答構成比率

回答の構成	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回	64.0%	43.8%	15.6%	15.6%	12.5%	12.5%
前回比	-2.0%	4.4%	0.5%	0.5%	3.4%	-8.7%
前回	66.0%	39.4%	15.2%	15.2%	9.1%	21.2%

DI:各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI=(増加・好転など「良い」の回答割合)－(減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格:DI=(下降)－(上昇)

製品・商品在庫:DI=(不足)－(過剰)

※令和7年6月期調査より、6.7ページ『9.【因島業界動向 概況】』内に記載のグラフにて、本統計調査開始時からの情勢の変化に対応させる為、《従業員》におけるDI値の算出方法を従来の『不足－過剰』から『過剰－不足』での算出に変更しております。
その為、令和7年3月～令和7年6月の間のグラフ線を消して記載をしております。
何卒ご了承ください。

本調査では一部AIを使用しております。

1. 【因島経済動向調査(DI方式) 報告】

～因島景況の総括 令和8年3月期～

全業種DI(良い－悪い)は、▲18(前回調査▲21、R7.3月調査▲32)で前回調査から比較すると+3ポイントとなった。業種別は下記の通り。

製造業は、造船・同関連:60(前回調査 25)、機械金属: 0(前回調査 0)、食品等▲17(前回調査▲33)で、製造業DIは15(前回調査▲7、R7.3月調査▲22)と前回調査より+22ポイント。

非製造業は、建設業:▲20(前回調査▲40)、卸売業:▲40(前回調査▲40)、小売業:▲75(前回調査▲33)、運輸・サービス業:▲50(前回調査▲15)で、非製造業DIは▲44(前回調査▲30、R7.3月調査▲40)で前回調査より▲14ポイントとなった。

【製造業】

造船業は3年先まで受注が埋まるなど堅調を維持している一方、資材高によるコストの不透明感から慎重姿勢も見られる。中国景気減速による輸出減や深刻な人手不足が重荷となり、操業維持の課題が山積している。

【非製造業】

建設業は資材高と労務費上昇で収益が圧迫されており、小売・卸売業も物価高による買い控えや競合激化で苦戦が続き、サービス業も工事等で足踏み状態。深刻な人手不足や防衛的賃上げの負担も重く先行きは不透明。

【令和8年3月期 景況DI】

《上段: 当月調査分、中段: 前回調査分、下段: R7.3月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	13%	56%	31%	▲ 18.0
(前回)	9%	61%	30%	▲ 21.0
(前年同月)	12%	44%	44%	▲ 32.0
製造業(当月)	29%	57%	14%	15.0
(前回)	8%	77%	15%	▲ 7.0
(前年同月)	14%	50%	36%	▲ 22.0
非製造業(当月)	0%	56%	44%	▲ 44.0
(前回)	10%	50%	40%	▲ 30.0
(前年同月)	10%	40%	50%	▲ 40.0

【令和8年4月～6月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI(良い－悪い)は▲28(前回月調査▲12、R7.3月調査▲38)と前回調査比で▲16ポイントの見通しである。

製造業は、造船・同関連:0(前回調査 25)、機械金属: ▲33(前回調査 0)、食品等 0(前回調査▲17)で、製造業DIは▲7(前回調査 0、R7.3月調査▲15)と▲7ポイントの見通し。

非製造業は、建設業: ▲20(前回調査 0)、卸売業:▲60(前回調査▲40)、小売業:▲75(前回調査 0)、運輸・サービス業:▲25(前回調査▲29)で、非製造業DIは▲44(前回調査▲20、R7.3月調査▲55)と▲24ポイントの見通しである。

【令和8年4月～6月の先行き見通し 景況DI】

《上段: 当月調査分、中段: 前回調査分、下段: R7.3月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	3%	66%	31%	▲ 28.0
(前回)	12%	64%	24%	▲ 12.0
(前年同月)	9%	44%	47%	▲ 38.0
製造業(当月)	0%	93%	7%	▲ 7.0
(前回)	8%	84%	8%	0.0
(前年同月)	14%	57%	29%	▲ 15.0
非製造業(当月)	6%	44%	50%	▲ 44.0
(前回)	15%	50%	35%	▲ 20.0
(前年同月)	5%	35%	60%	▲ 55.0

～因島生産額・売上の総括 令和8年3月期～

全業種DI(良い－悪い)は▲19(前回調査▲12、R7.3月調査 ▲32)で▲7ポイントとなった。

製造業は、造船・同関連:60(前回調査 75)、機械金属:34(前回調査 0)、食品等:▲16(前回調査▲50)で、製造業DIは 22(前回調査 0、R7.3月調査▲29)と前回調査より+22ポイントとなった。

非製造業は、建設業:▲40(前回調査▲20)、卸売業:▲40(前回調査▲60)、小売業:▲50(前回調査 0)、運輸・サービス業:▲75(前回調査 0)で、非製造業DIは▲50(前回調査▲20、R7.3月調査▲35)と、前回調査より▲30ポイントとなった。

【令和8年3月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R7.3月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	25%	31%	44%	▲ 19.0
(前回)	21%	46%	33%	▲ 12.0
(前年同月)	24%	20%	56%	▲ 32.0
製造業(当月)	43%	36%	21%	22.0
(前回)	31%	38%	31%	0.0
(前年同月)	21%	29%	50%	▲ 29.0
非製造業(当月)	11%	28%	61%	▲ 50.0
(前回)	15%	50%	35%	▲ 20.0
(前年同月)	25%	15%	60%	▲ 35.0

【令和8年4月～6月の先行き見通し】

全業種DI(良い－悪い)は▲18(前回月調査▲9、R7.3月調査▲23)で前回調査から▲9ポイントの見通しである。

製造業は、造船・同関連:0(前回調査 50)、機械金属:33(前回調査 33)、食品等 ▲17(前回調査▲33)で製造業DIは 0(前回調査 8、R7.3月調査 0)と前回調査より▲8ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲40(前回調査 0)、卸売業:▲20(前回調査▲60)、小売業:▲50(前回調査 0)、運輸・サービス業:▲25(前回調査▲15)で非製造業DIは▲33(前回調査▲20、R7.3月調査▲40)と前回調査より▲13ポイントの見通し。

【令和8年4月～6月の先行き見通し 売上DI】

《上段:当月調査分、中段:前回調査分、下段:R7.3月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
全業種(当月)	13%	56%	31%	▲ 18.0
(前回)	18%	55%	27%	▲ 9.0
(前年同月)	24%	29%	47%	▲ 23.0
製造業(当月)	14%	71%	14%	0.0
(前回)	23%	62%	15%	8.0
(前年同月)	29%	42%	29%	0.0
非製造業(当月)	11%	45%	44%	▲ 33.0
(前回)	15%	50%	35%	▲ 20.0
(前年同月)	20%	20%	60%	▲ 40.0

3. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項目 年月		残高合計					
		預金	前年同月比	貸出金	前年同月比	預貸率	前年同月差
令和6年度末		143,019	100.8%	54,161	101.2%	37.9%	1.1
R7年度	第1/四期末	143,692	101.8%	52,716	98.2%	36.7%	-1.3
	第2/四期末	144,894	101.3%	55,082	103.6%	38.0%	0.7
	第3/四期末	145,643	102.0%	55,353	103.1%	38.0%	0.4
	第4/四期末	143,675	99.7%	53,957	100.0%	37.6%	0.1

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

(因島金融懇談会調)

※第4四期は2月末時点の暫定値

4. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項目 年月		倒産件数		負債総額		備考
		件数	前年比(%)	金額	前年比(%)	
令和6年度		0	0.0	0	0.0	年度計
R7年度	第1/四期末	0	0.0	0	0.0	期計
	第2/四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第3/四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第4/四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	合計	0	0	0	0	年度計

(㈱東京商工リサーチ広島支社調)

5. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項目 年月		有効求人数		有効求職者数		有効求人倍率		備考
		人数	前年比(%)	人数	前年比(%)	倍率	前年	
令和6年度平均		2,712	103.8%	1,884	96.4%	1.45	0.10	
R7年度	第1/四期	2,768	103.5%	2,042	98.9%	1.36	0.06	
	第2/四期	2,713	102.6%	1,887	99.2%	1.44	0.05	
	第3/四期	2,714	100.7%	1,806	99.5%	1.50	0.02	
	第4/四期	2,701	95.4%	1,792	102.1%	1.51	-0.11	
	7年度平均	2,724	100.5%	1,882	99.9%	1.45	0.00	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第4四期は2月末時点の暫定平均値

6.【経営改善資金推薦状況】

(単位:件、万円)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金額	前年比 (%)
令和6年度		12	63.2	11,550	87.1	9,650	1,900	12	11,550	87.1
R7 年 度	第1/四期末	4	100.0	2,550	54.8	2,250	300	4	2,550	54.8
	第2/四期末	2	66.7	900	69.2	250	650	2	900	69.2
	第3/四期末	5	500.0	3,650	243.3	3,350	300	5	3,650	243.3
	第4/四期末	1	33.3	900	22.8	900	0	1	900	22.8
	合 計	12	109.1	8,000	70.2	6,750	1,250	12	8,000	70.2

※件数、金額は集計時以降変動する可能性があります。

(因島商工会議所調)

7.【因島商工会議所会員数】

(単位:者、社)

区 分	12月31日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	3月31日現在 会 員 数
法 人	447	1	4	444
個 人	425	3	5	423
合 計	872	4	9	867

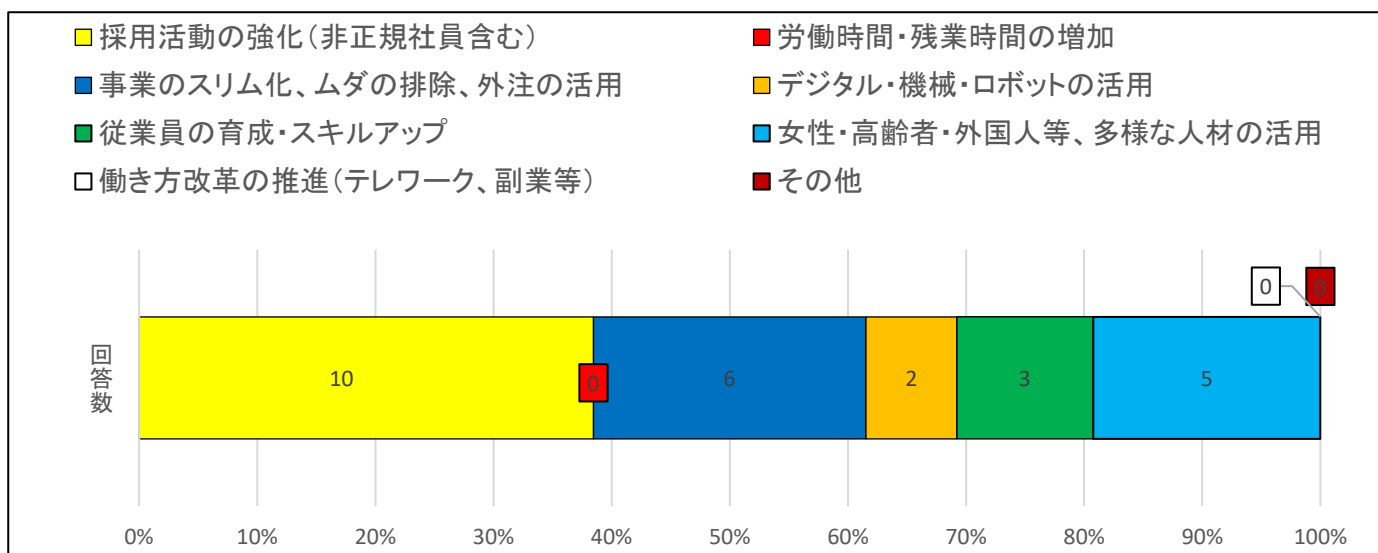
※注:組織変更含む

8.【今期のアンケート調査結果】

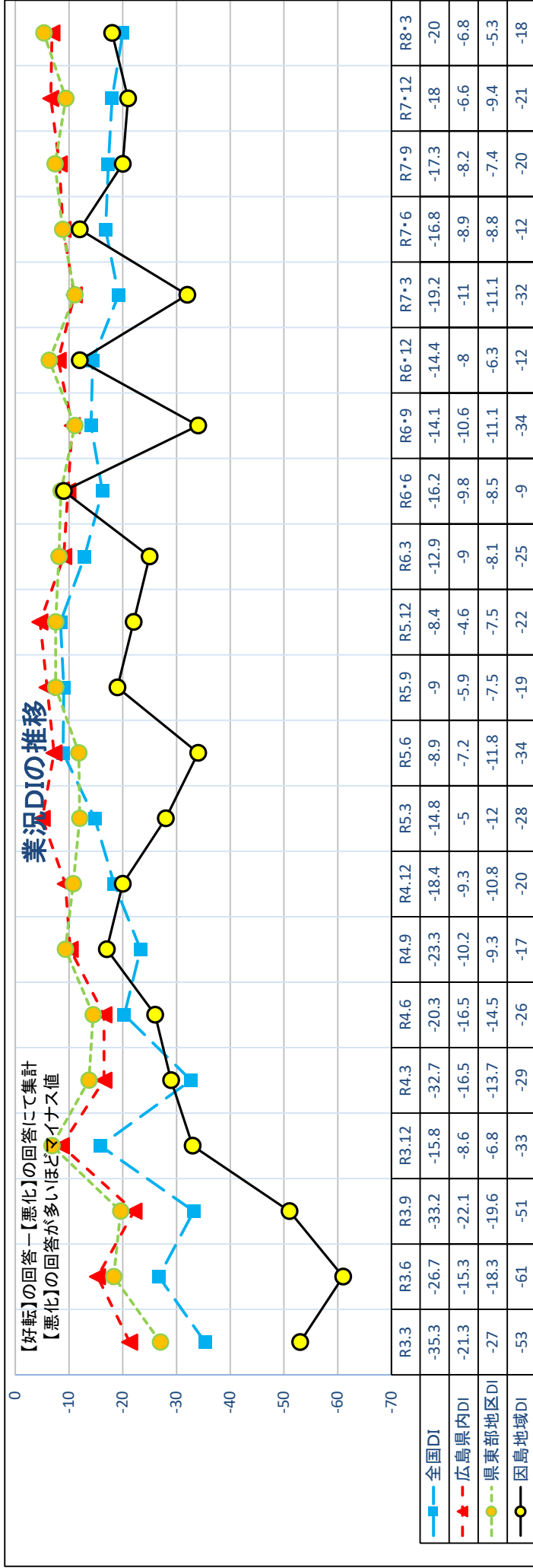
回答総数 26件(複数回答)

広島県商工会議所連合会「中小企業等の人手不足、賃金引き上げに関する調査」(令和7年度3月調査)より抜粋。人手不足対策は依然として「採用活動の強化」を挙げる企業が最も多いものの、前年調査と比較すると、「事業のスリム化・ムダの排除」や「デジタル・機械・ロボットの活用」へ取り組む企業数が増加している。

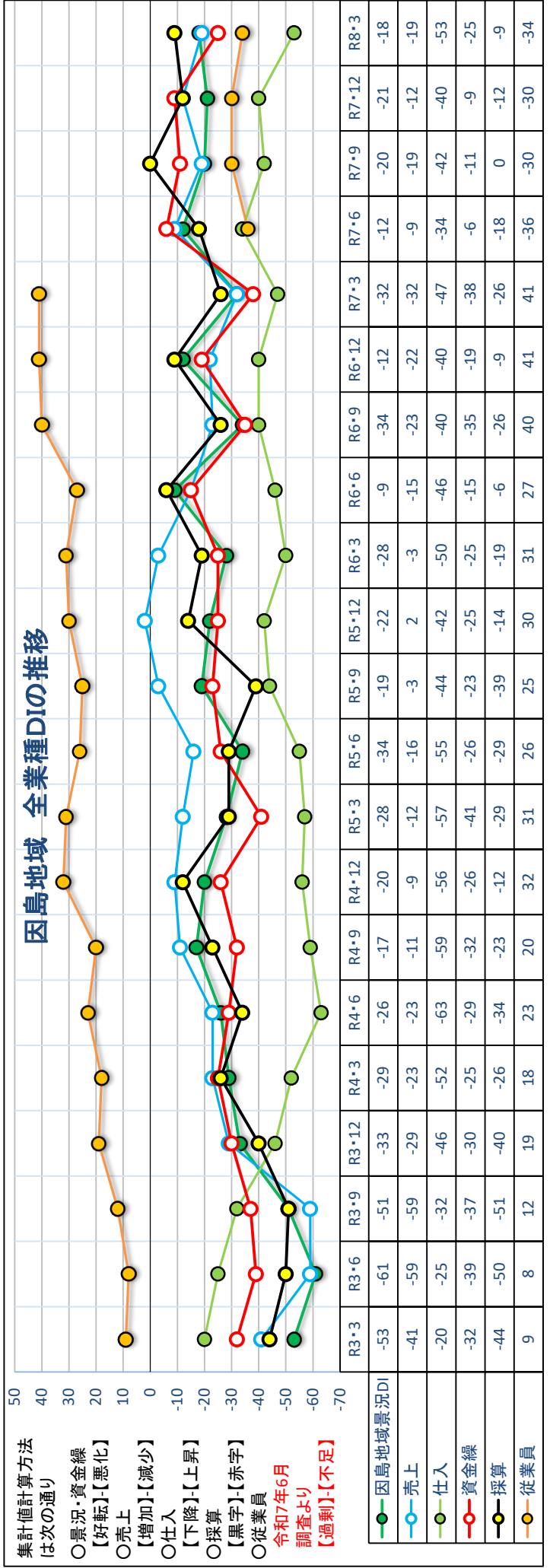
慢性的な採用難が続く中、企業は単なる「人員補充」に頼るだけでなく、限られた人員で生産性を維持・向上させるための「業務効率化」や「省力化(DX)投資」へと、対策の軸足を着実に移し始めている状況がうかがえる。



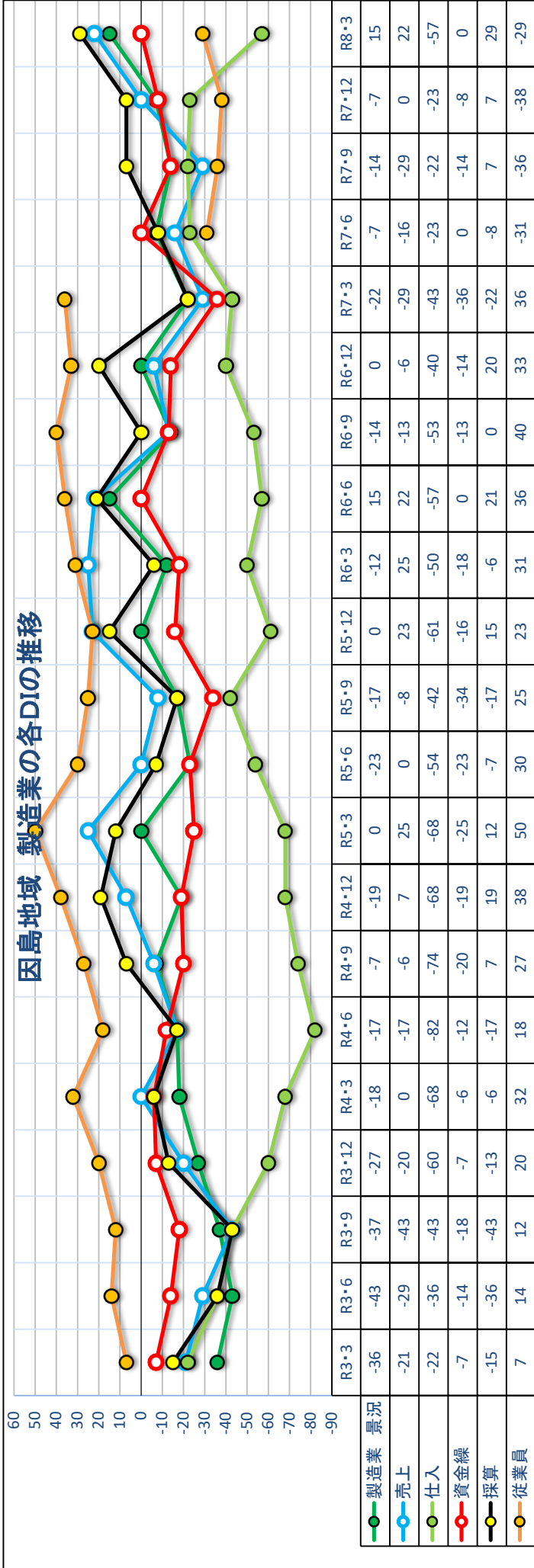
9. 【因島業界動向 概況】



6



因島地域 製造業の各DIの推移



因島地域 非製造業の各DIの推移

